

令和2年度（2020年度）公立高等学校入学者選抜における

# 学校裁量についての実施予定

**【表の見方】**

数字が書かれている学科で推薦入試を行います。数字は募集人員のうち、推薦による入学者の範囲の程度を%で示しています。「\*」を付している数字は、募集人員から連携型入学者選抜による合格内定者数を減じた数のうち、推薦による入学者の範囲の程度を%で示しています。

英語の聞き取りテスト、英語による問答、実技、作文、自己アピール文の提出のうち、学校裁量で行う項目について○を記入しています。

**一般入試における選抜**

15% 学力検査の成績を重視  
15% 個人調査書等を重視  
70% 個人調査書の「各教科の評定」の記録と学力検査の成績を同等に見る  
定員

学区	学校名	学科名	推薦入試		一般入試																
			面接以外に実施する項目	入学枠（%程度）	学力検査等の実施						複数尺度による選抜で重視する項目										
			英語の聞き取り	英語による問答	実技	作文	自己アピール文の提出	学力検査問題	傾斜配点の教科（倍率）	実技	作文	面接	学力検査の成績を重視	学年	個人	集団	個人	学力：評定	個人調査書等を重視		実技等
												全員	過半数						特別活動の記録	総合所見等	

普通科以外の学科については、道内全域です。

学校名・学科名の表記は、6月に発表の公立高等学校配置計画案に基づいています。

傾斜をかける教科名とその倍率を表しています。  
 (例) 数・理・英(1.5)  
 数学、理科、英語の3教科について、その得点をそれぞれ1.5倍にして各90点満点となります。

実施する内容に○を記入してあります。  
 「過年度卒」の○は、過年度卒業者のみを対象とした面接の実施を表しています。

学力検査の成績と個人調査書の「各教科の評定」の記録との重視の比率を表します。  
 個人調査書の「各教科の評定」の記録と学力検査の成績との重視の比率を表します。

個人調査書の中の項目のうち、選抜に当たって重視する項目に○を記入してあります。「総合所見等」とは「総合所見及び指導上参考となる特事項」を表しています。

選抜に当たって、面接や実技、作文などを重視する場合には、重視する内容を記入してあります。

**【表】**

学区	学校名	学科名	入学枠（%程度）	推薦入試		一般入試																
				面接以外に実施する項目	入学枠（%程度）	学力検査等の実施						複数尺度による選抜で重視する項目										
上川南	鷹栖	普通	30	英語の聞き取り	英語による問答							全員	過半数					8:2	6:4	○	○	面接